

# 2-10 鼻(1)



2-10と2-11は「パーツを描き分けるワーク」として、様々な鼻を描きます。鼻は、口や目と比べると感情表現には然程影響を与えません。しかし、顔の特徴や性別による差異を表します。このため、「違いが生まれるポイント」を把握した上で、描き分けができるようになることが目標です。では、「違いが生まれるポイント」から確認します。

鼻には大きく、<sup>はなすじ</sup>鼻筋、小鼻、鼻頭の三つのパーツがあります。これらのパーツの形や大きさ、陰影を変化させることで様々な特徴を描き出すことができます。

まずは、①鼻の基本形を描きます。(i)、(ii)、(iii)の比率が1:2:1となるように小鼻と鼻頭を描きます。その後、眉頭から小鼻にかけて、陰影を入れることで鼻柱を表現します。

次に、ワシ鼻(鉤鼻)を描きます。②ワシ鼻も(i)、(ii)、(iii)の比率は1:2:1のままですが、鼻頭を尖らせ、小鼻のラインも鋭く描きます。

続いて、丸い鼻(だんご鼻)を描きます。③丸い鼻は、鼻頭と小鼻のラインを丸く描きます。標準的な鼻に比べて小さくなった印象を受けますが、実際の幅および(i)、(ii)、(iii)の比率は変わっていません。なお、実際にポートレートを描く際には、描く対象をよく観察し、全体の大きさや鼻頭と小鼻の比率を変えてください。

最後に、④上向きの鼻(反り鼻)を描きます。反り鼻は、鼻先の先端が基本的な鼻より上方に位置しています。それによって、鼻穴が見えます。鼻頭の位置はAになります。



①

②

③

④